

國民の間に存する見えざる而も鞏固な聯結(unity), hero of the soulを national heroとして重要視する authorityの原則、そして之等を可能ならしむる處の人間行動の最終定要因たる Dutyの原則、之等は從來の個人主義的原子論に立つ Democracyに代る新 spiritual Democracyの實現を可能ならしむる處のものとせらる。

この様な社會の異質性と選良の理論は、ムッソリーニに於ても「人間の不變的な豊かなをとして創造的な不平等性を以て政治の第一の事實と考へる」と云ふ言葉の中にも現れてゐる處である。人間の資性 (intellectual, moral and physical attributes) を以て不平等であるとなし、人間の國家への參與も亦不平等的に評價せる可きものと主張し、而も個人が自己否定に依つて彼の特殊利益の放棄に依つて、死に依つてさへも彼の人間としての價値の存するかの徹底的に精神的な存在を實現する生を具現する時、選良 (national hero) をピラミッドの頂點に位地せしめる階級、即ち社會的、政治的、經濟的、道德的、宗教的オルガニズムが建設せられるのである。

Vilfred Pareto が十九世紀の民主的な社會組織の崩壞の中に新しい社會の形式を求めた時、構成せられた先驅的フアンズムもこの選良の循環と社會の異質性を主軸とするものであつた。

選良 (elite) と階級とを以て構成原理とし、主權國家に依つて率められた社會像 (それは又 Antonio Pagano の Idealismo e Nazionalismo に於て全體主義思想として論述せられた)、價値的に不平等な社會成員の共同性に本づく有機的ピラミッド形態はこ

うに新な相貌を以て我々の前に提出された。Parmieli はかくして次の様なムッソリーニの言葉を最後に引用してゐる。"..... Fascism is thus for the only serious form of Liberty, the Liberty of the State and form of Liberty, the Liberty of the State and of the individual within the State" (The Dante alighieri Society of Chicago, U. S. A. p. 261. 邦價九圓餘) (小澤言見)

バルカンの近況

英國國際情報局編

South Eastern Europe—Political and Economic Survey.

最近のニュースはハンガリー外相チヤイキー伯が九月八日バルカン中立ブロック形成の爲、ブタベストを経てローマを訪れたと報じた。歐洲諸國際間の複雑極まる微妙なる動きは、如斯直接大音響となつて、海を越えた世界の津々浦々にまで響き渡る世の中である。而も其の列強を動かせる因子の少くとも一部をなせるバルカンの状態を知る事は、確に今日の世界を解く重要なキーポイントではなからうかと思ひ、通讀に手頃な本書を選んで敢て紹介する事とした。

事實目下進行しつつある世界第二次大戰は、二十五年前に遡つて、バルカンなる名を再び動亂と鬪争とに結びつけて考へしめず

には置かない状態に立到つて居る。本年四月十五日日本書はロンドンに於て發行せられたものであつて、著者は此のバルカンを解剖する爲に其れを構成せる六ヶ國——ハンガリー、ブルガリヤ、ルーマニヤ、ユーゴスラビヤ、ギリシヤ、アルバニヤ（トルコを含む部分もある）を取擧げ、之を政治と經濟の二面より秩序よく觀察し、第一次大戦以來最近に到るまでのバルカン諸國の動向を回顧すると同時に、其の將來への發展を實例に則して解明せんと試みた作品である。

今其の内容を概略説明する事とする。第一編に於いては、先づ「外國關係と國際政治」と題して歐洲諸列強特に獨伊が第一次大戦以來今日までバルカン諸國に對して如何なる態度を持し、且つ行動して來たかを、年代記的に二期に分ちて説いて居る。即ち第一期（一九一九—一九三二年）に於ては、一九三二年二月に開かれたる Disarmament Conference の失敗と共に、建設途上にあつたバルカンの統一が全く希望を失つた事を述べ、第二期（一九三三—一九三九年）に於ては之に代つて獨逸國民社會主義が再燃し、伊太利のファシズムと共に其の勢力をバルカンに伸ばし始めた事等の経緯を、克明に、且つ其の舞臺を常にバルカンにのみ限らず、全世界に互つて解説して居る。而して其次にバルカン六ヶ國の最近二十四五年間に於ける政治組織其の他の變遷も各國別に説明が施されて居る。如斯バルカンの不統一、分裂、紛亂は一體、何が生み出すのであるか。著者は之を三ツに分けて考へて居る。即ち、第一の地形的影響としては、當地方の山脈は、アルプスやピレネーと異

り外敵の侵入に抗じ難き事と共に、又バルカン内部に於ては山國なる爲各國間の政治的統一に困難なる事。第二には大戦以來如斯き自然的環境を無視して異人種混合の國家を造つた事。第三としては、外國勢力發展の交錯點にある爲として居る。バルカンの中央ダニユーブの流れる處鐵門を越ればハンガリーの平原あり、プタベストを過ればウイーンあり、更に上流マインに於ては運河によつてライン川に連結せられて居る。實に是歐洲を從貫する大交通線であり、之のみに依るも獨逸の南進が認識せられるであらう。次に第二編に於ては、「經濟、貿易、財政」と題し、是亦第一編と同じくバルカンの各國を個別的に觀察して居る。即ち先づ土地及び人口、資源等を統計的に述べ、更に爲替管理と外國貿易、外國資源と投資、ドイツとの關係の四項目に互つて夫々の國の現状を簡明に説明し盡してある。

併し茲に注意すべきは本書が英國政府の手になる事である。即ち以上はバルカンなるものを他逸第三者の立場をとつて平靜に觀察して居るに對し、以上結論に入り、バルカン諸國の對外貿易、及び其の將來性を述ぶるに當つては、第三者たるの立場は捨てられ、獨逸のバルカン進出に對する抗議に充ちて居る。即ちバルカンは今や發展統一を計るべきなるに不拘、獨逸は之を資源の國として留め置き、之より自國に不足なる小麥、石油等を得て、自國よりは機械、武器等之に供給し、兩者の緊密化に着々成功しつつある。之が爲獨逸がバルカン資源を世界市價以上に買上げ、以て來るべき有事の際其れをドナウの流れに繋かんと希望して居る。

英國の獨逸に對する恐怖は實に此の點に存するのであつて、著者は獨逸を以て世界市場の破壊者と叫び、海外貿易局祕書長ハドソンのドイツに對する威嚇的言辭を借りて結びとして居る。

要するに本書は稍側面的見解を示せる缺點なしとはいへ、決して政治的意圖を有する著作ではない。それは吾人の有する判断力を以て相殺すべきである。唯バルカン諸國に於ける民族構成に對して更に深い説明を望むものであるが、併し兎も角本書は比較的冷靜に吾人の知らんとするバルカンの近況を凡ゆる方面より觀察批判したる貴重な文献と信じ、一讀を御推めする次第である。

尙各所に統計表、地圖の挿入せられて居る事は、吾人の理解を便ならしめて居る。(菊版、本文二〇三頁、圖表二四、地圖一〇葉、輸入價五四五拾錢)〔内藤玄匡〕

移民と環境

シヤピロ著

本書はアメリカ博物館長、ハワイ大學教授兼コロンビア大學講師、シヤピロの著。「移民と環境」特に「ハワイ日本人移民の體質的徵表とその子孫に及ぼせる環境の影響」の研究である。この研究はハワイ大學援助の下にロックフェラー基金に依つてなされたもの。第一次實地調査は一九三一年一月、ハワイ諸島で、第二次調査は翌三二年日本内地で行はれたものである。

移民と環境なる問題を扱ふに著者は人種學的見地よりなした。一般に人類學、人種學に於いて行はれてゐる如く、外見的徵表に

正確なる測定を興へ、その比較に依つて徵表的變化を論じてみてこれを一貫するものは統計的處理である。内地定住者と移民との間に體質的徵表的變化あること、又それらと移民子孫との間にも同じく變化を見ること、等、いづれも彼が第一次、第二次調査に於いて蒐集した貴重な統計に基くものである。この方法の可否に就ては第二章その他に於て論述自らの崩壞を免るべく細心の注意を拂つてゐるのであつて、今更これに就いて云々する要はあるまい。

この研究より得た結果は日本内地定住者と、ハワイの日本人移民、或はその子孫との間に體質的徵表的差異のあることで例へば男子移民は内地定住者に比して體重、四肢の長さ、肩幅、胸幅、頭高、顔高、鼻長、鼻高、等に於いて著しい増加を示し、坐高、胸高、胸の厚さ、鼻凸角、鼻幅、等に於て減少を示すことである。この傾向は女子移民の場合にも移民子孫の場合にも妥當するところ、氣候、食物、その他の複雑多岐に互る人文的、自然的環境の變化がこの結果を齎らしたものであらう。

この様な移民と環境の人種學的研究は既に三十年前、ボアス氏によつて試みられたことがある。(Changes in bodily form of descendants of immigrants, N. Y. 1912) これに於いて彼はアメリカ來住移民の子孫が環境の變化に依り體型及び頭型指數に變化を生じてゐることを述べたのである。こゝに始めてこの問題に曙光が興へられたのであつて、今のシヤピロ氏の研究は更にこれを一步進めたものと云へる。